石巻専修大学
●「石巻専修大学」ホームページ● https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

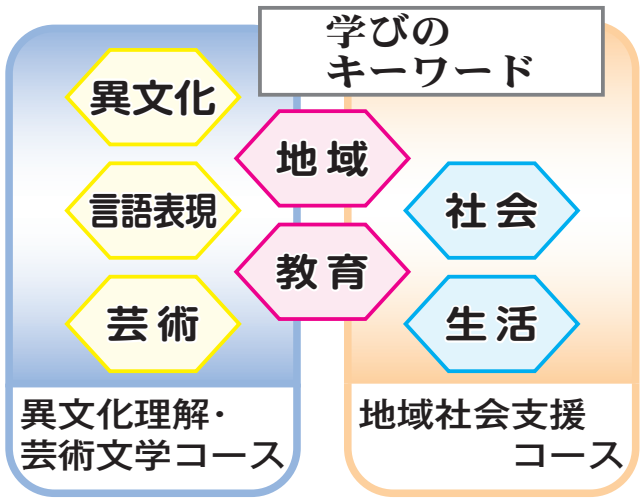
石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

最新の情報は大学HPで。

人間学部人間文化学科

体系的かつ多角的に学修

22年度 コース制導入



人間学部人間文化学科は2022年度より、学生一人一人が将来の志向に合わせて選択できるコース制を導入する。

現行の四つのモデルを集約して新設されるのは、「異文化理解・芸術文学」「地域社会支援」の二つのコース。言語、芸術、文学、生活、地域社会など多様な要素で構成される人間の文化を、多角的な視野から学修できる体制を整える。

異文化理解・芸術文学コースでは、異文化コミュニケーション論やメディアアート論などを学修。異文化理解に役立つ諸言語の運用能力や、文学を含む芸術一般に関する幅広い知識を身につけることができる。

地域社会支援コースでは、地域における社会教育や生活支援、社会問題や政策など、体系的に学ぶ。さまざまな課題研究に取り組むことで、地域社会の現状と課題を理解し、問題解決に向けた提案を行える力を養う。

どちらも地域に密着した課題解決型科目を配置し、実践的な学修を通じて、地域の創生・振興に貢献できる人材の育成を目指す。中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）、学芸員資格、社会教育主事（任用資格）、社会福祉主事（任用資格）などの資格取得が可能。卒業後は、教育や福祉、観光をはじめとした国際ビジネス、英語教員、各種文化施設など幅広い分野での活躍が期待される。

人間教育学科・保育実習

成果報告会を実施

人間学部人間教育学科4年次生による「保育実習Ⅱ」の報告会が7月30日に行われた。

保育士資格の取得には保育所での実習が必要で、本学では3年次に「保育実習Ⅰ」、4年次に「保育実習Ⅱ」を履修し、段階的に学びを深めていく。保育士志望の4年次生にとって報告会は、実習の振り返りや教員の助言を通じて、自らの課題と成果を把握できる絶好の機会となる。報告会には1～3年次生も参加し、先輩たちの経験談に熱心に耳を傾けた。保育実習への関心は高く、発表後には活発な質疑応答が行われた。

寄り添った保育を目指して子ども一人一人と関わったと話す金澤沙彩さん（宮城県中新田高）は「声かけや接し方を試行錯誤した結果、子どもたちの個性や特徴の理解、個々に合った対応ができた」と手応えを感じている。相澤優花さん（宮城県石巻北高）は「実習前に教材やピアノ、指導案の準備をしておくことが大切。貴重な経験ができる機会なので、楽しんで頑張ってほしい」と、後輩たちに語りかけた。

実習での体験談と合わせて、自作の教材を紹介する金澤さん

生物科学科・海洋生物学実習

石巻・追波湾の環境を調査

理工学部生物科学科の3年次生23人が8月24日～26日、海洋生物学実習に参加した。同授業は、海洋観測や生物採集の基礎を学ぶ体験型の野外実習で、海洋生物コースの学生を対象に毎年行っている。

実習初日は石巻市の大指漁港からチャーター船に分乗し、追波湾沖で海洋観測を実施。船上から観測機器を降ろして海水環境（水温、塩分、流向流速など）を測定したほか、魚や動物プランクトンを採集した。

2日目は大学の実験室で、採集した魚の胃の内容物や動物プランクトンを顕微鏡で観察。午後からは大学近くの北上川で河川環境調査を行い、最終日には海洋と河川の環境の違いを分析し、レポートにまとめた。

栗田奈緒さん（山形県鶴岡南高）は「海水の濁度やプランクトン量を調べることで水深や地形との関係が分かり、興味深かった」と感想を述べた。村上湧起さん（宮城県泉館山高）は「講義で学修したことを自分の目で見て確認でき、良い経験になった」と話した。

生きた状態の生物とそれらが生息する環境に直接触れることができる今回の実習は、これまで座学で身につけてきたさまざまな知識を有機的に結びつける貴重な機会となった。

追波湾沖で試料を採集する学生たち

胃の内容物を顕微鏡で観察

情報マネジメント学科・フレッシュマンセミナー

通学の利便性向上を研究

今年新設された経営学部情報マネジメント学科の1年次生が「石巻専修大学へのアクセスの利便性向上」について研究し、その成果を発表した。同研究は1年次生を対象にした「フレッシュマンセミナー」の一環で、グループごとに半年かけて取り組んできた。

8月4日に開かれた発表会で、学生たちは「JRとバスの利用」「サポートバスの改善案」「交通アクセスについて他大学との比較」「通学支援策について」などのタイトルで発表を行った。

JRとバスによる通学について研究したグループは、架空の学生を設定し、移動にかかる時間を曜日ごとに算出。「サークル活動後の時間帯にはバスがない」など、現状の課題を明らかにした。

県内にある四つの大学のアクセス状況を比較したグループは「プレゼンの基礎能力が身についた。データを収集・分析することで大学の現状を把握できた」と振り返った。

代表2グループの発表を聞いた尾池守学長は「現状に満足せず学び続け、社会の諸問題の解決に活用できる知識と技能を身につけてほしい」と激励した。

代表グループが分析結果を尾池学長らに報告

合同発表会で他大学と交流

経営・杉田ゼミ

経営学部経営学科の杉田博ゼミが8月30日、他大学と合同でオンライン研究発表会を開催した。合同研究発表会は春と夏の2回行われ、今回は青森公立大学藤沼ゼミ、千葉商科大学坂井ゼミ、北九州市立大学山下ゼミの学生たちが参加した。

経営組織論を学ぶ杉田ゼミの2・3年次生20人は4チームに分かれ、それぞれ「コメダ珈琲はなぜ黒字？」「コロナ禍とふるさと納税」「エンターテインメントと人」「日本のホスピタリティー」と題して発表＝写真。質疑応答を通じて他大学との交流を深めた。

司会を務めた3年次ゼミ長の三浦怜央さん（岩手県宮古高）は「各大学の着眼点は多様で、それが新しい気づきにつながった。他大学との打ち合わせなど準備も含めて良い経験になった」と話した。

育友会定期総会を開催

11、12月に支部懇談会を予定

ご父母・保護者の会である石巻専修大学育友会（三浦浩会長）の定期総会が7月31日、本学キャンパスで開かれた。

昨年度は書面評決で行われたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、2年ぶりに招集開催となった。育友会主任の松谷武成理工学部教授らが出席。「令和2年度事業報告」「令和2年度収支決算報告および監査報告」「令和3年度事業計画（案）」「令和3年度収支予算書（案）」の四つの議案が承認された。

育友会では11、12月に東北6県で支部懇談会を予定している。開催地は、青森県青森市▽秋田県秋田市▽岩手県北上市▽山形県山形市▽宮城県仙台市▽福島県福島市。開催日など詳細は後日、本学ホームページに掲載。なお、今後の状況により中止の可能性がある。

受験相談会2021

対面・オンライン両形式で

【開催日】
10/3(日) 11/7(日) 12/12(日)
【開催時間】
10:00 ～ 15:00

受験に関する質問や相談に応える個別相談やキャンパスツアーを実施。希望に合わせて、本学キャンパスでの対面形式、オンライン形式のどちらでも参加できます。詳細はＱＲコードから。